

いじめ対策アクションプラン

小山市立絹中学校

学校

いじめのない学校づくり・校内指導体制の構築

- いじめ防止対策委員会の設置・開催
- いじめの定義再確認

教師

いじめの未然防止

- いじめは、しない・させない・許さない。
- ◎ 全職員で情報を共有化し、指導支援に生かす。
- わかる授業の工夫。

- ◎ 何でも話ができる信頼関係を築く！
- 生活ノートの日記を通して心の交流に努める！
- 小さいいじめを見逃さない！
- ◎ 職員が常時声をかけ一人一人の生徒の変化に気を配る！
- 生徒が相談しやすい環境作り！
- 月に一度のアンケートの実施！
- QU検査の活用！
- いじめ防止強調週間をもうける。

学級

豊かな心の育成

生徒の心を育て、学びの集団作り

- ◎ いじめを許さない、居がいのある学級。
- 道徳の授業を要に、心を育てる。
- 行事で豊かな心を育てる。
- 適切な言葉遣いで誰とでも話ができる学級。
- ルールづくり・リレーションの確立した学級。

- 差別のない民主的な考え！
- 個人の尊重！
- 一人一人の意見を聞く！

生徒

- 豊かな心を持ち思いやりのある生徒
- 自ら学び個性を磨く生徒
- 健康の増進に努め根気強い生徒

- いじめ防止標語作成

- いじめゼロのシンボルマーク作成

保護者

みんなで生徒を見守る！

地域

- 学校行事、部活動、授業参観積極的に声をかけ、職員と保護者の垣根を取り払う。
- 学校だより学級だより等で学校の活動を積極的に保護者にお知らせする。

- 地域との交流を大切にした行事の継承（ふれあい広場 絹地区体育祭等）
- 地域全体で生徒を見守る。
- 開かれた学校
- 学校評議員との連携

◎は重点